



# ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2008年(平成20年)6月25日号 No. 1433

## 目次

■プーチン内閣の布陣に関する続報	服部 倫卓	1
■トピックス		7
国際協力銀などがサハリン2への融資に合意		7
アサヒビールがロシアにウイスキーを輸出		7
トラック・ワンがウラジオに営業拠点		7
ファナックがロシアでシェアを拡大		7
マツダがSUVをモスクワモーターショーで公開へ		7
JOGMECがカザフで共同地質調査を開始		7
丸紅が温室効果ガス削減事業でカザフと合意		8
東芝がカザフ国営企業と原子力協力に関する覚書に締結		8
日本・カザフ担当相が貿易投資拡大の覚書に署名		8
■エトセトラ		8
『調査月報』2008年7月号のご案内		8
ロシア地下資源法および大陸棚法改正法の和訳を掲載		9
■ロシア・NIS諸国通貨の為替レート		9

## プーチン内閣の布陣に関する続報

### はじめに

ロシアでは、5月8日に前大統領のプーチン氏が首相に就任し、同12日には政府機構の構成と閣僚人事も固まり、プーチン内閣が発足した。これについては、本誌5月15日号(No.1429)に掲載したレポート「プーチン内閣における経済官庁・閣僚」で報告したとおりである。

その後、各省庁の概要を定めた一連の政府決定が制定され、ロシア新政府および各省庁の具体像が徐々に明確になってきた。その一方で、貿易の管理権をめぐり、経済発展省と産業・商業省の間で、紛糾が続いている。他方、連邦漁業庁が、農業省の管理下から外れ、政府直轄となるという見逃せない動きもあった。

そこで、本稿では、前回のレポートに補足する形で、プーチン内閣の布陣に関する続報をお届けする。